

CASBEE 広島 2016年版 (仮称)庚午南1丁目マンション			■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)							
スコアシート			実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.4	
Q1 室内環境						0.40		-	3.3	
1 音環境					3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音					3.0	0.50	3.0	0.50		
1			開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2			界壁遮音性能			-	3.0	0.30		
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20		
4			界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20		
1.3 吸音						-		-		
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50		
1			室温		3.0	0.63	3.0	0.63		
2			外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38		
3			ゾーン別制御性			-		-		
2.2 湿度制御					3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境					3.0	0.25	3.8	1.00	3.6	
3.1 屋光利用					3.0	0.30	4.6	0.50		
1			屋光率		-	-	5.0	0.50		
2			方位別開口			-	5.0	0.30		
3			屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.50		
1			屋光制御		3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度					3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63		
1			化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38		
1			換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2			自然換気性能			-	3.0	0.33		
3			取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理						-		-		
1			CO ₂ の監視			-		-		
2			喫煙の制御			-		-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.5	
1 機能性					3.9	0.40	4.6	1.00	4.4	
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60		
1			広さ・収納性			-		-		
2			高度情報通信設備対応		1Gサービスを採用	-	5.0	1.00		
3			バリアフリー計画		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	4.0	0.40		
1			広さ感・景観			-	3.0	0.50		
2			リフレッシュスペース			-		-		
3			内装計画		パースを作成し照明も含め全体的に計画、モデルルームにてモックアップ検	5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理					4.0	0.30		-		
1			維持管理に配慮した設計		汚れが目立たないタイル等を選び、風除室も同時に扉が開かない。管理室内に清掃用流し等を設ける。	4.0	0.50			-
2			維持管理用機能の確保			4.0	0.50			-
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30		-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50		-		
1			耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2			免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30		-		
1			躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3取得	3.0	0.20			-
2			外壁仕上材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3			主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4			空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5			空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
6			主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性					3.0	0.20		-		
1			空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2			給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
3			電気設備		3.0	0.20		-		
4			機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5			通信・情報設備		3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			景観法に基づきまちなみに調和した外観としている	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]： 0.98	3.2	0.50	-	-	3.2
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆を全面採用	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2を低減する材料、システム、工法等を採用	3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	適切な駐車台数、待機スペースを確保	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たす 屋外広告はありません	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	